

Hello! FUJISEI

No. 35

平成23年1月1日現在における卯(う)年生まれの人口は1008万人で、総人口1億2736万人に占める割合は7.9%となっています。男性は490万人、女性は517万人で、女性が男性より27万人多くなっています。

卯年生まれを出生年別に見ると、第1次ベビーブーム(昭和22年~24年)後の昭和26年生まれ(平成23年中に60歳になる人)が186万人で最も多く、次いで、第2次ベビーブーム(昭和46年~49年)直後の昭和50年生まれ(同36歳になる人)が183万人となっています。

十二支別では、丑(うし)年生まれが1168万人で最も多く、以下、子(ね)年(1147万人)、寅(とら)年(1133万人)と続き、卯(う)年生まれは10番目となっています。

●新成人人口は124万人

この1年間(平成22年1月~12月)に新たに成人に達した人口(平成23年1月1日現在20歳の人口)は124万人です。男性は63万人、女性は61万人で、男性が女性より2万人多く、女性100人に対する男性の数(人口性比)は104.2となっています。

推計を開始した昭和43年からの推移をみると、第1次ベビーブーム世代の昭和24年生まれが成人に達した45年が246万人と最も多くなった後、減少に転じ、53年には152万人とな

卯年生まれと新成人の人口

新成人人口の割合 初めて1%を割る

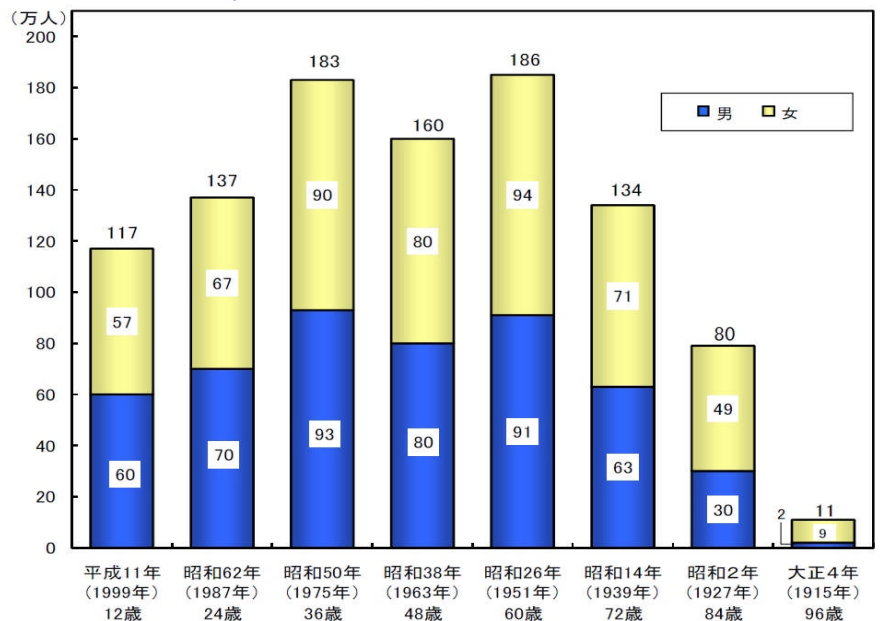
りました。昭和50年代後半から再び増加傾向となり、第2次ベビーブーム世代の人が成人に達した時に200万人台(最高は平成6年の207万人)となった後、平成7年に再び減少に転じて以降は減少傾向です。

平成23年は前年から3万人減少し

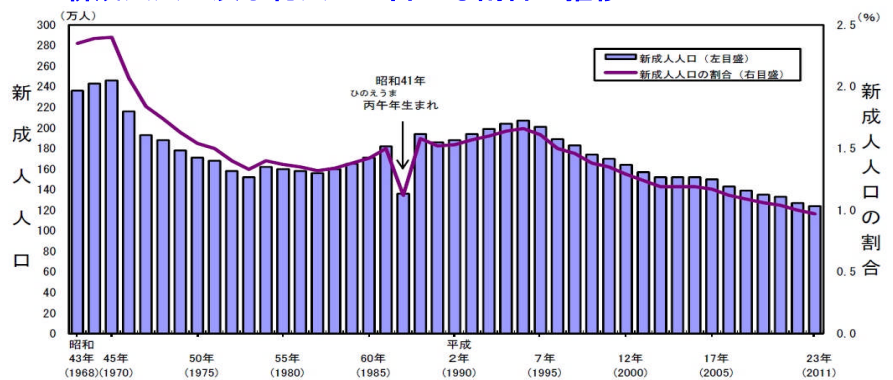
て124万人となり、最も多かった昭和45年(246万人)のほぼ半数です。

なお、減少を続ける新成人人口は、4年連続して過去最低を更新。総人口に占める割合も低下を続けており、平成23年は0.97%と、初めて1%を割り込みました。

男女・出生年別卯年生まれの人口



新成人人口及び総人口に占める割合の推移(各年1月1日現在)



総務省「卯(う)年生まれと新成人の人口ー平成23年 新年にちなんでー(人口推計から)」